

鳥羽うみアートプロジェクト 関連アートイベントについて

鳥羽市観光課

1. 鳥羽うみアートプロジェクトの目的と経緯

【第二次鳥羽市観光基本計画に基づいた中期アクションプログラムの戦略のひとつ】

鳥羽市の観光振興指針である「第2次鳥羽市観光基本計画」に基づいた中期アクションプログラム（令和元年度～令和3年度）では、「鳥羽うみアートの推進」をひとつの戦略として位置づけ、計画最終年度（令和7年（2025年）度）における到達点として以下の3つを掲げています。

- ①芸術（アートイベントを含む）が鳥羽市の魅力の1つとなっていて観光客がそれを目的に訪れるようになっている。
- ②芸術家が市内に居住し、市民や観光客と芸術家との交流の場が創出されている。
- ③市民の芸術に対する親しみが生まれていて、芸術的センスが磨かれている。

【鳥羽うみアートプロジェクト】

鳥羽市では、「鳥羽うみアートプロジェクト」として、観光関係団体とともに、鳥羽市としてふさわしい芸術観光のあり方の検討や、市内の各種団体が実施する芸術に関するイベントや展示等をひとつの冊子に取りまとめ情報発信を行っています。

令和元年度からは中期アクションプログラムの戦略④「鳥羽うみアートの推進」として、アートが来訪目的となるような「本格的なアート」が観光資源となるよう基礎固めを進めているところであり、既存アート事業の推進、アーティストの滞在促進、市民参加の促進等に取り組んでいます。

2. 「鳥羽ストーリーズ・アートプロジェクト『安楽島』」について

女子美術大学と安楽島町民の有志で結成された「安楽島アートプロジェクト」のメンバーが主体となり、安楽島地区の「ストーリー」を芸術作品として表現し、期間限定の展示会を実施します。

女子美術大学は平成29年度にも「鳥羽ストーリーズ・アートプロジェクト『なかまち』」として実施し、鳥羽・なかまち地区に住む人々の「ストーリー」を作品として表現していただきました。今回はその第2段として安楽島地区で実施します。

このプロジェクトは、女子美術大学の「サービス・ラーニング」科目という授業として行われ、鳥羽に数週間滞在して作品制作を行う「アーティスト・イン・レジデンス」です。

【プロジェクト名】鳥羽ストーリーズ・アートプロジェクト「安楽島」

【共催】女子美術大学共通専門研究室、安楽島アートプロジェクト、鳥羽市、鳥羽市観光協会

【作品展示期間】令和元年8月10日（土）から長期間。

※8月5日（月）～12（月）にかけて女子美術大学生が鳥羽に滞在します。

【会場】鳥羽市安楽島町各所

※詳細は別紙チラシをご確認ください。

3. 「鳥羽ストーリーズ・アートプロジェクト『安楽島』」の取り組み経緯と今後の動き

<4月上旬～中旬>

- ①鳥羽・安楽島に関するリサーチ（女子美術大学）
- ②インタビュー方法の研修（女子美術大学）
- ③学生と安楽島町民のマッチング

<4月27～30日>

- ①鳥羽・安楽島に関する現地調査
- ②マッチング成立ペアとのインタビュー、ヒアリング
- ③安楽島町民とのワークショップ開催（海藻アート作品等の制作）

<4月～7月>

- ①大学内での作品制作（随時・電話等でストーリーをヒアリング）

<7月14日～28日>

- ①「海藻の庭～鳥羽ストーリーズ・アートプロジェクト「安楽島」関連企画～」の開催
場所：鳥羽ショッピングプラザハロー2F 催事場

<8月5日～9日>

- ①展示の設営・準備
- ②プレスツアー

日時：8月6日（火）14時～15時

集合場所：旧安楽島保育所前（展覧会地図：展示場所5番）

<8月10日～12日>

- ①安楽島での作品展示

※展示された作品は、安楽島町内会が管理し、長期間展示される予定。

- ②カフェ&立ち寄り式ワークショップ

会期：8月10日（土）～12日（月）11時～15時

場所：エバンドロ・ハウス（展覧会地図：展示場所3番）

協力：安楽島フードセンター

イベント内容：冷たい飲み物を飲みながら、安楽島の石に安楽島の海藻の絵を描くワークショップを実施します。無料で予約不要です。

- ③あらしま朝市（関連イベント）

日時：8月11日（日）8時～10時

場所：JF 鳥羽磯部安楽島支所（展覧会地図：展示場所9番）

- ④アートトークツアー

日時：8月11日（日）9時～10時半

集合場所：鳥羽磯部漁協安楽島支所前（展覧会地図：展示場所9番）

ツアーリーダー：磯野玲奈（参加アーティスト：女子美術大学大学院生）

企画者：磯野玲奈

事前予約：不要

内容：展覧会エリア、あらしまフードセンターから旅館かめやへ、散歩をしながら、展覧会作品を鑑賞します。トーク内容は、磯野玲奈さんからアーティストの紹介、アーティストによる作品紹介と、あらしまの方との意見交換もあります。

4. 鳥羽うみアートプロジェクト 佐藤紘子展『ここは、海のなか』の概要について

関西を拠点に活動をしている美術作家 佐藤紘子（さとうひろこ）氏の作品展を「鳥羽大庄屋かどや」で開催いたします。佐藤氏は、日常の生活からインスピレーションを受けて絵画作品を生み出しており、神戸ビエンナーレでの大賞受賞など、数々の賞を受賞しております。

昨年度は代表作である縦 4 メートル×横 10 メートルの大型作品「迷いクジラは、今宵もすきを育む」を、海の博物館で展示するなど、市内数か所で展示会やワークショップを実施していただき、鳥羽うみアートプロジェクトに関わっていただいています。

今回は、国登録有形文化財に指定されている「大庄屋かどや」の中が、まるで海のなかにいるような展示をイメージし、3m もの油絵をはじめ、30 点ほどの海の仲間たちが、涼しげに泳ぎます。

また、市民・観光客にアートに親しみをを持っていただく取り組みとして、佐藤氏による油絵の講習会も実施します。

5. 佐藤紘子展「ここは、海のなか」の基礎情報

会期：7月31日～8月25日

展示場所：鳥羽大庄屋かどや

開催時間：10:00-16:00（火曜定休）

講習会「今年は、油絵に挑戦！」

開催日時：①8/11（日）13:00～16:00

②8/17（土）13:00～16:00

③8/23（金）13:00～16:00

※上記の日にちのうち、2回お選びください。

場所：かどや内

持ち物：不要（キャンバスや画材はご用意します）

講習会費 5000円（2回）+2000円で、3回目以降も受講できます。

6. 佐藤氏プロフィール

佐藤 紘子（さとう ひろこ）

1985年 愛知県名古屋市生まれ

2012年 京都市立芸術大学美術科油画専攻 卒業

2014年 京都市立芸術大学美術研究家修士課程絵画領域油画専攻 修了

2018年 鳥羽市一帯で鳥羽うみアートプロジェクト佐藤紘子展を開催

現在、大阪のアトリエを拠点に、関西・関東を中心に活動中